

総 第 895 号

平成25年 9月 2日

新潟県知事 泉 田 裕 彦 様

加茂市長 小 池 清 彦

県立加茂病院の建て替えに際して産科の復活再開を求める要望書

- 1 県立加茂病院には、長い間産科が置かれ、加茂田上地域を中心に広い地域の女性の皆様のお幸せを守っていたのであります。
- 2 しかるにこの産科は、平山知事によって、理不尽にも平成16年10月休止されてしまいました。
- 3 その後間もなく、平成16年10月泉田知事が就任され、加茂市長と加茂市区長会は、平成17年1月27日加茂市民の93.25%に当たる30,473人の署名を以って、泉田知事に対して、加茂病院産科の再開を求める要望書を提出いたしました。
- 4 一方厚生労働省は、平成15年にこれまでの政策を変更し、2次医療圏の数を半分にして、新しい2次医療圏に比較的規模の小さな「地域救命救急センター」を設置することとしたのであります。

- 5 この時、厚生労働省は、同時に基幹病院を設置するという方針を打ち出したわけではありませんので、県央2次医療圏に設置される救命救急センターは、県央にある2つの県立病院のうちの地の利のよい加茂病院に設置されるのが、当然の成り行きでありました。
- 6 しかるに、泉田知事は、新たに県立の基幹病院を造ることとされ、国立の燕労災病院と県立の加茂病院を統合すべしとする加茂市長の提案を何の検討もしないまま却下されたのでありました。その結果、救命救急センターは、県立加茂病院に設置されませんでした。
- 7 その結果生じた最大の不幸は、このままでは、県立加茂病院に産科が復活再開されないことになる可能性が大きくなったことでありました。
- 8 現在、産科は、加茂、田上、新津、五泉、津川には存在せず、三条と横越にあるだけでありまして、広大な地域に住んでいる女性の方々が大層苦しんでおられます。
- 9 つきましては、泉田知事におかれましては、このたび県立加茂病院を建て替えられる機会に、県立加茂病院にぜひとも産科を復活再開していただきたく、衷心より御願い申し上げます。
- 10 産科には、常勤医師が3人必要だという人がいます。しかし、三条市のレディースクリニック石黒には、常勤医師が1人しかおりません。三条市の茅原クリニックにも、常勤医師は1人しかおりません。三条市の済生会病院にも常勤医師は2人しかおりません。吉田病院にも常勤医師は2人しかおりません。休止される前の加茂病院も常勤医師は1人で、必要に応じて新潟大学医学部産婦人科の医局から医師が支援に来ておりました。従いまして、とりあえずは、産科医師は、1人か2人でもやむをえないと思います。

- 11 泉田知事におかれましては、基幹病院設置の後は、ますます「三条」と「新潟の中心部方面」にのみ産科医師が集中して置かれ、広い地域が産科医師の空白地帯となるアンバランスの現実と、大勢の女性の苦しみに思いを致され、県立加茂病院の建て替えの機会に、この病院に産科を復活再開して下さいますよう、重ねて衷心より御願い申し上げます。